

有機銅水和剤 ドキリンフロアブル	取扱メーカー： 日農 原体メーカー： ——
成分： 8- ヒドロキシキノリン銅〔PRTR・1種〕……………35.0%	性状： 黄緑色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 広範囲の病害に有効で、各種の作物に葉害がない。
- りんご、なしの基幹殺菌剤として使用できる。
- 高濃度製剤で希釈倍数が高く、作物に残る汚れが少なくなる。多くの薬剤と混用でき、使いやすい。
- 水和剤に比べ、果実に対する汚れが少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 使用の前には容器をよく振って使用する。
- 予防的に使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- はくさい、レタス、キャベツの軟腐病、キャベツの黒腐病などの細菌性病害防除に使用する場合、発病後の散布では効果が劣ることがあるので、発病前～発病初期から予防的に散布する。
- ぶどうに使用する場合、果実肥大期（あずき粒大）以降の散布では、さび果や果房の汚れを生じることがあるので、無袋栽培ではこの時期以降の散布はさける。

- 石灰硫黄合剤、ジネブ剤、水和硫黄剤とは混用しない。
- 適用作物（りんご、はくさい）の葉害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 自動車などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意する。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 眼に対して刺激性がある。
- 皮膚に対して弱い刺激性がある。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	有機銅を含む農 薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病	800～ 1000 倍	200～ 700 ℓ	14 日前まで	4 回以内	散布	7 回以内 (塗布は 3 回 以内, 散布 は 4 回以内)
	炭疽病	800 倍					
おうとう	せん孔病	700～ 800 倍		収穫終了後 ～ 落葉期まで	3 回以内		6 回以内 (塗布は 3 回 以内, 散布 は 3 回以内)
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 枝枯細菌病	1000 倍		3 日前まで	9 回以内		12 回以内 (塗布は 3 回 以内, 散布 は 9 回以内)
かき	落葉病 うどんこ病 炭疽病	800～ 1000 倍		14 日前まで	5 回以内		8 回以内 (塗布は 3 回 以内, 散布 は 5 回以内)
もも	縮葉病	800 倍	発芽前～ 開花直前まで 但し, 収穫 60 日前まで				
ぶどう	黒とう病 枝膨病 べと病	600 倍		45 日前まで	4 回以内 (開花後は 1 回)		7 回以内 (塗布は 3 回 以内, 散布は 4 回以内 (但 し, 開花後は 1 回以内))
すいか	果実汚斑細菌病	800 倍	100～ 300 ℓ	前日まで	5 回以内		5 回以内
	つる枯病 炭疽病	500～ 1000 倍					
メロン	つる枯病			10 日前まで			
	果実汚斑細菌病	800 倍					
キャベツ	黒腐病	500～ 1000 倍		14 日前まで	3 回以内	3 回以内	
	軟腐病	800～ 1000 倍		30 日前まで			
はくさい	斑点細菌病	1000 倍			前日まで	5 回以内	5 回以内
きゅうり	べと病 炭疽病	1000～ 1500 倍					
	いちご	炭疽病		500～ 800 倍	育苗期	3 回以内	3 回以内
レタス	軟腐病	800～ 1000 倍		21 日前まで	5 回以内	5 回以内	
	腐敗病	800 倍					
非結球 レタス	軟腐病	800～ 1000 倍	30 日前まで				
	腐敗病	800 倍					